

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 12 月 15 日作成)

小委員会名	居住性能評価指針改定刊行小委員会	
主査名	横山 裕	
就任年月	2017 年 4 月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行営委員会)	委員長名：岩田利枝 主査名：羽山広文
設置期間	2016 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	・建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説の改定	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：横山 裕 (東京工業大学) 幹事：松本泰尚 (埼玉大学) 委員：安藤 啓 (安藤環境コンサルタント), 石川孝重 (日本女子大学), 井上勝夫 (日本大学), 国松 直 (産業技術総合研究所), 志村正幸 (建設環境研究所), 鈴木雅靖 (鹿島建設), 野口憲一 (近代建築保存技術研究室), 濱本卓司 (東京都市大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	性能評価法検討WG (居住性能評価規準・同解説の改定(案)作成に係わる具体的作業)	
2017 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	・第 36 回環境振動シンポジウム (2018 年 1 月 23 日) において、「評価規準(案)について」と題し、改定(案)について説明し、広く意見を募った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	・当初の予定通り、居住性能評価規準・同解説の改定(案)を作成した本年度内に、査読を終了する予定。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・**最終年度評価**)

<p>総合評価 (4 段階評価)</p>	<p>A</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当初の予定通り、居住性能評価規準・同解説の改定(案)を作成した。 本年度内に、査読を終了する予定。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。